

二度目の 緊急事態宣言に思う

市長 明智 忠直



新年がスタートして1か月、依然として衰えない新型コロナウイルス感染症。早く例年どおりの生活や行事ができるようになりたいと願っていた矢先に、2回目の緊急事態宣言が発出されました。市でも予定していた行事のほとんどが中止せざるを得ない状況になり、その中でも特に苦渋の決断をしたのが成人式でありました。昨年、一生に一度の記念行事はなんとか行いたいとの思いから、金婚式を実施したところ好評の声をいただき、やって良かったと実感したものでした。成人式も最後まで諦めずに計画していましたが、感染が拡大する中、帰省する新成人や家族のほか、関係者などのさまざまな感染リスクを考え、中止の決断をいたしました。もちろん延期についても考えましたが、コロナの収束が見えない状況で開催を先延ばしすることは、さらに新成人や関係者の気苦労になるとの思いから断念しました。

現在、意見発表や恩師の言葉などをまとめた記念冊子を、記念品と一緒に市内の全ての新成人に配布しようと、準備を進めているところであり、ます。成人を迎えた皆さまをはじめ、ご両親や関係する方々にはご理解をいただければと思います。

今回の緊急事態宣言は、対象となった都府県に対し、飲食店関係への営業時間の短縮要請や、不要不急の外出の自粛、テレワークや時差出勤を推進していくことなどです。人の流れや接触を極力減らす措置が主でありますが、テレビなどでは宣言以降もあまり人出が減少していない状況が報じられています。若い人たちへのインタビューでは「感染しても軽症で済む」といった、危機感のない発言もありました。国民全体が協力しなければ、以前の生活に戻る日は遠いと思います。一人一人が感染防止に真剣に取り組み、一刻も早くコロナから脱却しましょう。



市図書館だより

開館時間／●火～金曜日…午前9時～午後6時 ●土・日曜日…

午前9時～午後5時 ※2月5日(金)までは午後5時閉館。

今月の休館日／11日(木・祝)、18日(木)、23日(火・祝)、毎週月曜日

岡市図書館 ☎62-2560 <https://www.library-asahi-chiba.jp/>

今月のおすすめ

「境界線」



中山七里 著
(NHK出版)

震災の爪痕を残す宮城。遺体確認で、苦篠刑事は妻の身分証を所持する別人を目にする。他殺体で発見された男の身分証も偽造だった。

「雪のなまえ」



村山由佳 著
(徳間書店)

いじめが原因で不登校の雪乃は、父と共に曾祖母が住む長野に移住した。大自然と地元の人との出会いが、彼女の心を溶かしていく。

新着図書

- 内澤句子の島へんろの記(内澤句子)
- 大名格差 (安藤優一郎)
- 佳子さまの素顔 (つげのり子)
- オードリー・タン 自由への手紙 (オードリー・タン)
- その虐殺は皆で見なかったことにした (舟越美夏)
- アンダーランド (ロバート・マクファーレン)
- 「はやぶさ2」が舞い降りた日々 (的川泰宣)
- 志麻さんの台所ルール(タサン志麻)
- 運命の絵 (中野京子)
- 吉永小百合 私の生き方(築山卓観)
- あの人と短歌 (穂村弘)
- 源氏物語の楽しみかた (林望)
- 今度生まれたら (内館牧子)
- オルタネート (加藤シゲアキ)
- 騙る (黒川博行)
- 雪に撃つ (佐々木譲)
- ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人 (東野圭吾)
- 北条五代 (火坂雅志・伊東潤)
- しのぶ恋 (諸田玲子)
- ふつうでない時をふつうに生きる (岸本葉子)
- 何がおかしい (佐藤愛子)
- 僕のコーチはがんの妻 (藤井満)

おはなしの時間

幼児向きの絵本の読み聞かせ

日時／2月25日(木)

午後4時30分～5時

場所／市民会館2階和室